

エチレン・酢酸ビニルエステル樹脂合成高分子エマルジョン
吸水調整材・セメントモルタル混和用エマルジョン

エレホンシーラー

エレホンシーラーは、エチレン・酢酸ビニルエステル樹脂からなる、塗布型の吸水調整材、またセメントモルタル混和用エマルジョンです。

塗布することにより、下地の吸水を抑制し、上塗りモルタルのドライアウトによる接着不良を防止します。
また、現場配合モルタルに添加することにより、モルタルの接着強度、曲げ強度、防水性等を向上させます。

特 長

- ▶ 塗布することにより、下地の吸水調整が簡単にできます。
- ▶ 塗布することにより、下地の吸水を抑制するため、セメントの水和反応が阻害されず、接着界面での剥離を防止します。
- ▶ 混入することにより、下地への接着性を高め、引張強度、曲げ強度、防水性、耐摩耗性、耐衝撃性等を向上させることができます。
- ▶ 混入することにより、急激な乾燥収縮によるひび割れを抑制することができます。

用 途

- ▶ 下地の吸水調整
- ▶ セメントモルタル混和用エマルジョン

配合及び材料使用量

●塗布工法

	配合量(重量比)	
エレホンシーラー	2kg(1)	18kg(1)
水	4kg(2)	36kg(2)
標準施工面積	30㎡	270㎡
標準塗布量	水希釈液0.2kg/㎡ (積算0.067kg/㎡)	

●荷 姿



18kg缶



2kgポリ容器

●混入工法

エレホンシーラーをセメントに対し重量比10%程度混入する。

- ・混入配合例(塗布厚:20mm程度, 塗布方法:コテ塗り)

用 途	配 合 (kg)			
	セメント	エレホンシーラー	水	砂(細骨材)
現場配合モルタル (床面)	25	2.5	12~16	75

※この配合例での砂は乾燥状態です。現場で使用する際は含水量に応じた補正を行って下さい。

施工要領

●塗布工法

1. 下地処理

脆弱部、付着物、ほこり等上塗りモルタルの接着を阻害するものを除去し、清掃する。下地処理は入念に行う。

2. 塗 布

塗布は下地表面に浮き水がない状態で行う。

エレホンシーラーを水で希釈し、希釈液をハケ、ローラー等により塗布する。凹部へのたまりや塗りむらがないように注意する。

(配合比 エレホンシーラー 1 : 水 2)

3. 養 生

塗布液が指触乾燥するまで(目安:塗布後1時間程度以上)養生する。指触乾燥後、上塗りモルタルを施工する。

性 能

●性状

主 成 分	エチレン・酢酸ビニルエステル樹脂合成高分子エマルジョン
外 観	乳白色液体
全 固 形 分	44.1%
比 重	1.068
粘度 (mPa・s)	840

●JIS A 6203 : 2000 (セメント混和用ポリマーディスパーション及び再乳化形粉末樹脂) によるエレホンシーラー混入モルタル物性

試験項目	試験結果	品質規定
曲げ強さ (N/mm ²)	9.98	8.0以上
圧縮強さ (N/mm ²)	38.9	24.0以上
接着強さ (N/mm ²)	1.57	1.0以上
吸 水 率 (%)	4.2	10.0以下
透 水 量 (g)	3	15以下
長さ変化率 (%)	0.056	0~0.150

注) 上記は当社実験室で試験を行った結果であり、品質保証値ではありません。

●本資料について

- 本資料の技術情報は、当社の試験・研究に基づいたもので、信頼しうる情報と考えられます。しかし、記載の諸性能および特性などは、施工条件などにより本資料と異なる結果を生じることがあります。
- 本資料の記載事項は予告なしに変更する場合がありますので、予めご了承下さい。

●混入工法

1. 下地処理

左記の方法により下地処理する。

2. 混 練

セメントと砂をあらかじめ空練りしよく混ぜ合わせ、所定量のエレホンシーラー及び水を加えて、モルタルミキサー等で十分に攪拌する。

3. 塗り付け

コテで下地に薄く擦り付けた後、所定の厚みに仕上げる。

4. 養 生

硬化するまで風雨等を避けて養生する。その後は現場状況に応じ必要な期間養生する。

●使用上の注意

- ご使用に際してはSDS(安全データシート)をよく読んで下さい。SDSの入手は購入先にご依頼下さい。
- 取り扱い時は、保護手袋、保護眼鏡等の適切な保護具を着用して下さい。
- 製品は直射日光を避けて5~35℃で保管して下さい。
- 施工・養生中に降雨、降雪、強風が予想される場合は、施工を見合わせて下さい。
- 施工・養生中に5℃以下が考えられる場合は、凍害防止のため採暖を行って下さい。
- 塗布工法で、塗布量が少ないとドライアウトを防止できないことがあります。シーラー乾燥後に水を吹きかけて、水をすぐに吸水しないことを確認して下さい。すぐに吸水した場合は再塗布して下さい。
- 吸水抑制効果が見られた場合は、それ以上塗布しないで下さい。
- 混入工法で、混練に高速ミキサーを使用した場合や過度の攪拌をした場合に、エアの巻き込みにより強度低下を生じることがあります。
- 施工後に長時間の直射日光が当たる場合はシート養生を行って下さい。
- 飲み込んだ場合は、無理に吐き出さず、水で口の中をよく洗い、直ちに医師の診断を受けて下さい。
- 目に入った場合は、清浄な流水で15分以上洗眼した後、医師の診断を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合は、付着物を拭き取り、水と石鹸で十分に洗い落として下さい。かゆみ・炎症が出た場合は、直ちに医師の診断を受けて下さい。
- 廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して下さい。許可を受けた場所以外への廃棄は絶対にしないで下さい。

代理店



特殊セメントの分野を大きくリードする

エレホン・化成工業株式会社

EREWHON

<https://erewhon.co.jp>

●本 社 ・ 工 場	〒870-0141	大 分 県 大 分 市 三 川 新 町 1 - 2 - 2 3	TEL (097) 552-2251	FAX (097) 552-2213
●い わ き 工 場	〒979-3112	福 島 県 い わ き 市 小 川 町 上 平 字 中 平 30 - 3	TEL (0246) 83-2600	FAX (0246) 83-2677
●大 阪 支 店	〒532-0003	大 阪 府 大 阪 市 淀 川 区 宮 原 5 - 1 - 3	TEL (06) 6842-7500	FAX (06) 6842-7544
●福 岡 支 店	〒814-0151	福 岡 県 福 岡 市 城 南 区 堤 1 - 9 - 10	TEL (092) 874-6990	FAX (092) 862-6398
●関 東 支 店	〒224-0003	神 奈 川 県 横 濱 市 都 筑 区 中 川 中 央 2-5-13-3F	TEL (045) 534-9656	FAX (045) 534-9657
●仙 台 支 店	〒984-0012	宮 城 県 仙 台 市 若 林 区 六 丁 の 目 中 町 6 - 2	TEL (022) 287-7221	FAX (022) 287-7222
●名 古 屋 支 店	〒463-0048	愛 知 県 名 古 屋 市 守 山 区 小 幡 南 3 - 5 - 21	TEL (052) 758-1889	FAX (052) 758-1890
●札 幌 支 店	〒007-0805	北 海 道 札 幌 市 東 区 東 苗 穂 5 条 3 - 2 - 32	TEL (011) 786-6051	FAX (011) 786-6052
●新 潟 営 業 所	〒950-0963	新 潟 県 新 潟 市 中 央 区 南 出 来 島 1 - 10 - 23	TEL (025) 280-9282	FAX (025) 283-6262
●静 岡 営 業 所	〒422-8058	静 岡 県 静 岡 市 駿 河 区 中 原 743 - 1 - 1F	TEL (054) 270-9380	FAX (054) 270-9381
●北 陸 営 業 所	〒920-0027	石 川 県 金 沢 市 駅 西 新 町 2 - 11 - 25	TEL (076) 204-9417	FAX (076) 204-9418
●広 島 営 業 所	〒739-1731	広 島 県 広 島 市 安 佐 北 区 落 合 2 - 41 - 22	TEL (082) 841-2350	FAX (082) 841-2360
●熊 本 営 業 所	〒861-8045	熊 本 県 熊 本 市 東 区 小 山 2 - 14 - 47	TEL (096) 237-6557	FAX (096) 388-6227
●鹿 児 島 営 業 所	〒890-0082	鹿 児 島 県 鹿 児 島 市 紫 原 1 - 51 - 25	TEL (099) 284-0533	FAX (099) 284-0535
●㈱エレホン・技研本社	〒781-0270	高 知 県 高 知 市 長 浜 5 2 2 6 - 1 3	TEL (088) 805-2332	FAX (088) 841-2322
●㈱エレホン・技研岡山営業所	〒791-8042	愛 媛 県 松 山 市 南 吉 田 町 1 4 5 0 - 6	TEL (089) 974-8225	FAX (089) 974-8230